



園長のワンポイント ～ 情緒の崩れと睡眠 ～



よくかんしゃくを起こしたり、イライラしたりして情緒の崩れやすいこどもが居ます。原因は様々で、過ごしている生活環境に問題があって不安感が高まっていたり、訴えたいことを上手く言葉で表現できないことで泣いたり怒ったりすることがあります。さらにそういった情緒の乱れが、日頃の睡眠や生活リズムと関係していることもあります。睡眠が不足していると、恐怖や怒りを処理する脳の部位(扁桃体)が過剰に働いてしまい、小さな刺激でも大きく反応してしまうことがあります。また自己抑制を担っている脳の前頭葉も働きにくくなって、情緒的な反応が抑えられなくなります。この時期、まだ残暑もあって寝苦しい日々が続いています。適切な温度設定で夜間は快適に眠れるような環境を作りたいものです。



来たる9月7日(日)、「あおぞらセミナー」が開催されますが、今回は兵庫県立リハビリテーション中央病院小児科の菊池清先生に睡眠障害のお話を伺うことになっています。睡眠について気になる方はぜひ参加いただければと思います。

こちらのQRコードからセミナーの内容を確認いただけます →



サポートノート講座を行いました ～ 支援をつなぐためのノート作り ～

明石市が発行している「サポートノート『かけはし』」はお子さまの成長を記録し、支援をつなぐためのノートです。お子さまの支援に必要な情報を保護者が記入し、園や学校、児発や放デイの先生、お医者さんなどのお子さまにかかわる方に渡すことでご本人もご家族も支援者も安心できる、優れもののアイテムです。詳しく記述することであらためてお子さまのことに気づいたり、書類をまとめていくとアルバムや辞典のようになっていきます。

講座にはあおぞら園・きらきらのお母様とお父様13名の方たちにご参加いただきました。皆さん宿題もしっかりとしてくださっていて、書いたものを見せ合っているいろいろな気づきを得られたり情報交換をされたりして、有意義な時間を過ごしていただきました。(副施設長・吉川)

明石海浜公園プール体験会に参加しました



7月16日(水)に第1回目の明石海浜公園プールの体験会がありました。当日は天候が曇りだったこともありとても過ごしやすい気温の中で実施することができました。

今回の体験会で初めてプールに入るお子さんもいましたが、ダイナミックにプールで遊ぶことができていました。あおぞら園からも指導員が参加して子どもたちと一緒にプールに入り楽しませてもらいました。プールの水の中でリラックスしたり、水の感触を楽しんだりする姿があり、お子さんの表情も輝いていましたが、保護者の方の笑顔も多く、夏のいい思い出ができたと感じました。(井坂)

笑顔のひまわりっこクラブ ～ 卒園後もきょうだい児の居場所として ～



7月26日(土)午前中、卒園児のきょうだいと在園児のきょうだい合わせて11人のきょうだいに参加してくれたひまわりっこクラブ。卒園児のきょうだいはみんな初対面でした。最初は緊張の表情でしたが、いろいろなゲームと一緒に楽しむ中で、自然にお互い声をかけあったり、応援し合ったり…どんどんみんなが笑顔になっていきました。そして、「ともだちができてうれしかった」という感想もいただきました。私たちが一番うれしい言葉です。

少しずつ顔なじみの友だちが増えて、楽しい時間を一緒に過ごす中で、色々な気持ちの共有ができる場になることを願っています。(副主任・小坂田)

タッチプール ～ 海の生き物に触れて ～



今年度もお忙しい中、西二見漁業組合の松本組合長にご協力いただきまして、タッチプールを開催しました。漁師さんが事前に採ってくれた魚やタコ、ヒトデなどの海の生き物に触る体験をさせて頂きました。目の前の海の生き物に子どもたちは興味津々!実際に触れてみたり、観察させてもらったりと、貴重な経験ができました。(藤原)

明石市立幼稚園の「つくしの部屋」の先生方が来られました



7月末の1週間、毎日2,3名の先生が来られて、登園から降園までの間、園児や園の様子を見学されました。「つくしの部屋」は明石市立幼稚園に通う幼児の個別通級指導を行う教室で、一人一人の特性に合わせて幼児教育相談員の先生と発達を促すための様々な遊びや課題に取り組み、自信をつけ、自尊感情を培うことを目的としています。

終了後のアンケートでは、職員が園児とかかわる時の表情や援助のしかた、支援方法や環境づくり、職員同士の連携など、様々な点で学びがあったとの感想をいただきました。また、幼稚園の担任の先生の見学の機会や、もっと外部の機関への発信をしてほしいとの声もいただいていたいへんうれしく思いました。

児童発達支援センターとしての中核機能の強化を求められるなか、先生方の後押しもいただいて、あおぞら園・きらきらは地域の発達支援をいっそう充実させるために力を尽くしていきます。(副施設長・吉川)

すいかわり ～ 季節を感じられる行事を大切に ～



7月30日(水)にすいかわりを各クラスで行いました。事前に、疑似すいかを割る導入を行っていたこともあり、意欲的に取り組むお子様が多く見られていました。「すいかわり=すいかを割る」だけでなく、指導員がすいかを割っている様子に注目したり、割れたすいかに触れてみたり、匂いを嗅いでみたり等すいかの感触をお子様なりに様々な方法で楽しむことができていました。すいかわりの後には、すいかを食べたり、果肉をストローで吸って食べる様子も見られていました。すいかわりの活動後、すいかの絵本を見たり、イラストを見て、振り返りを行うと指差しをしたり、「すいか」と教えてくれるお子様もいました。

今後も、様々な行事を通して、季節を感じたり、行事の雰囲気を楽しんでいただけたらと思います。(大杉)

フェスティバルを開催 ～ お祭りの雰囲気をみんなで楽しむ ～



【きらきら】7月28日から8月1日にきらきらフェスを行ないました。いつもとは違う雰囲気にソワソワする様子も見られましたが、いろんなお店で遊ぶことができていました。メダル屋さんでは、好きなイラストのメダルを首からかけて嬉しそうな様子や、ジュース屋さんでは、お子さんが店員になりジュースを販売したり…と色んな姿が見られました。お祭り遊びを楽しんだ後は、かき氷を食べました。食べることが難しいお子さんも、氷を削ったり、シロップをかける様子を見ることができていました。今後も、お子さまの様子を見ながら内容を検討し、楽しめるように工夫していきたいと思います。(森岡)

【あおぞら】8月6、7、8日に各クラスであおぞらフェスを実施しました。お祭りの気分を味わって貰いたいと考え開催したあおぞらフェス。団扇の制作を楽しむ、金魚すくいやおさかな釣りを頑張る姿等を見ることができました。どのクラスのお子さまものびのびと参加する事ができていたのではないかと感じています。毎年恒例のかき氷も見たり、触れたり、食べたりとそれぞれにかき氷を知ってもらえる機会になったかなと思います。(水田)

